

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                      |    |              |
|----------------|----------------------|----|--------------|
| ○事業所名          | 進学&就職 あなたが宝モノ 泉南兔田教室 |    |              |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 2月 20日         |    | 2025年 3月 10日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)               | 35 | (回答者数) 8     |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 2月 20日         |    | 2025年 3月 10日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)               | 5  | (回答者数) 5     |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 3月 15日         |    |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み(※)だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること  | 工夫していることや意識的に行っている取組等   | さらに充実を図るための取組等             |
|---|---|---|----------------------------|
| 1 | 毎日の朝礼の中でそれぞれのご利用者様の課題、成長を共有できていること。また、同社内で研修や困り感の解消のためのアイデアの共有ができていくこと。様々なプログラムやイベントを各事業所で行っていることで、良い所を共有し沢山のご利用者様・保護者様に喜んでいただける機会が増えること。 | 毎日の朝礼での振り返り・共有・支援計画の読み合わせ・ジハツカンからの助言<br>療育のプログラムの毎月の模擬研修・ミーティング<br>毎月の全社員でのミーティング | 全社員での療育プログラムの模擬・事例検討会・外部研修 |
| 2 | どのようなことでも、前向きに捉え活力にできるスタッフが多数いることで課題を修正するスピードが早い。小さなヒヤリハットが日々の中で沢山出てくる体制を作り風通しのいい事業所であること。  | 毎日の日報公開・教室内での毎日のヒヤリハットの発表と改善案の思案・ヒヤリハットチームでの検討<br>ミーティング・全社員でのヒヤリハット事例の共有         | お互いに声を掛け合う積極性を評価していく仕組み作り  |
| 3 | 療育のプログラムについて、柔軟に修正することで更に毎日毎月毎年ブラッシュアップできていること。   | 毎日の朝礼での振り返り・共有・支援計画の読み合わせ・ジハツカンからの助言<br>療育のプログラムの毎月の模擬研修・ミーティング<br>毎月の全社員でのミーティング | 細分化したプログラムの立案・療育開始         |

|   | 事業所の弱み(※)だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること   | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                   |
|---|--|--|--|
| 1 | SNSや通信での情報共有を保護者様へ周知しているつもりになっておりました。特に避難訓練の実施状況をお伝えすることがあまりできていないことが今回の自己評価でわかりました。 | 日々の業務の中で、SNSでの発信はしておりますが視覚的にもっとわかりやすい情報の発信が必要だったと思います。また、印刷物のご利用者様の連絡袋に入ったままになっておられる保護者様も多くおられるため、事業所への関心という点でも努力が必要だと考えております。 | アセスメント時や直接お会いできるときに、再度通信の存在やSNSの存在を知らせる努力が必要だと考えております。 |
| 2 | 保護者様へのペアレントトレーニングや療育参観・参加の場が少なくなっておりました。   | コロナ禍を経て、緩やかに保護者様の参加できるイベントや参観も復活させる予定としていましたが、実際にはなかなか実現にいたしませんでした。  | 大きいモノではなく、少人数からのイベントで保護者様も負担なく参加できるモノから取り組もうと考えております。  |
| 3 | 地域の方とのつながりが少なく、連携が取れていないので今後は適宜イベントなど繋がるものを作っていきたいと思っております。                          | 日々のご利用者様や保護者様との取り組みや療育の内容について必死になりすぎたため、この辺りの地域の方との連携が後回しになってしまっておりました。  | 今後は、周りの環境へも目を向けどのような連携が取れるかを考えるようにしてまいります。             |